

小児科（新生児）

1. 概要

当院新生児医療センターは、東三河地区唯一の総合周産期母子医療センターに指定されている。

2016年の入院数は476例で内350例は院内出生であった。126例の院外出生例においては医師が救急車に同乗して搬送しており、診察依頼があったすべての新生児に24時間体制で高度な医療を迅速に提供している。一部の外科的治療が必要な例は他施設への搬送を要する例もあるが、その場合も医師が同乗し責任をもって搬送に当たっている。2016年の死亡例は1名のみと過去最少であり、最先端の医療技術と共に、東三河地区の新生児救命率の向上に貢献している。新生児期の医療面のみではなく、患児発達支援や、両親の心のサポートを医師、看護師、理学療法士、臨床心理士が共同して提供している。

当センターは周産期（新生児）専門医の基幹研修施設に指定されており、若手医師の教育、専門医の育成にも尽力している。

（第二部長 幸脇 正典）

2. 活動報告

(1) 入院患者の出生状況

① 出生体重

出生体重(g)	症例数(件)
～499	2
500～749	4
750～999	15
1000～1249	9
1250～1499	19
1500～1999	59
2000～2499	140
2500～	228
計	476

② 出生在胎

出生在胎週数(週)	症例数(件)
22～23	3
24～26	8
27～29	15
30～32	34
33～36	155
37～41	261
42～	0
計	476

③ 出生場所

出生院	症例数(件)
豊橋市民病院	350
小石マタニティークリニック	36
パークベルクリニック	24
マミーローズクリニック	15
中岡レディースクリニック	18
豊川市民病院	8
渡辺マタニティークリニック	5
オレンジベルクリニック	4
愛知厚生連 渥美病院	4
ジュンレディスクリニック豊橋	2
蒲郡市民病院	2
今泉産婦人科医院	2
ふたば助産院	1
名古屋大学医学部附属病院	1
県外産院	1
病院外出産	3
計	476

(2) 死亡退院例

	在胎週数	出生体重	死亡日齢	死亡原因
1	24週1日	564g	14日	早発型感染症